

9/26黄綬褒章受章記念祝賀会  
 今春の褒章で受章した富和造(株)常務の「吉田秀夫氏」黄綬褒章受章記念祝賀会が、9月26日18時半から川口市の青木会館5階「カーネギー」で開かれる。記念祝賀会の発起人は、埼玉鑄物技術士の飛高利美会長、永瀬勇・宮地正司副会長、川口名匠会の川澄寛国会長、中村ヤエ子副会長の5氏。

KAWAGUCHI FOUNDRY NEWS

川口鑄物ニュース

編集兼発行人 総務委員会  
 発行所 川口市元郷2-1-3  
 川口鑄物工業協同組合  
 電話(川口) 048(224)6200番(代表)  
 FAX 048-224-1536番  
 ●ホームページ・メールアドレス  
 http://www.kawaguchi-imo.jp  
 kumiai@kawaguchi-imo.jp

組合員

新規需要・販路開拓で展示会に出展

日本下水道協会主催の「下水道展13東京」が、7月30日～8月2日までの4日間東京・有明の東京ビッグサイト東4・5・6ホールで盛大に開かれた。今回の出展は329社・団体、1033小間、そのうち川口鑄物から新規需要開拓、販路拡大のために、長島鑄物(長島博高社長)と前澤工業(松原正社長、前澤洋二エンジニアリング、前澤洋二エンジニアリングの共同出展)の2社が出展した。

下水道関連見本市である下水道展は、猛暑の中、関係者が多数訪れて終始盛況だった。サブタイトルに掲げた通り、まさに「世界に

「下水道展13東京」に出展  
 長島鑄物、前澤工業の2社

誇る技術の祭典、だった。「下水道展13東京」が、7月30日～8月2日までの4日間東京・有明の東京ビッグサイト東4・5・6ホールで盛大に開かれた。今回の出展は329社・団体、1033小間、そのうち川口鑄物から新規需要開拓、販路拡大のために、長島鑄物(長島博高社長)と前澤工業(松原正社長、前澤洋二エンジニアリング、前澤洋二エンジニアリングの共同出展)の2社が出展した。

下水道関連見本市である下水道展は、猛暑の中、関係者が多数訪れて終始盛況だった。サブタイトルに掲げた通り、まさに「世界に

拓していく」と自信を深めていた。

このほか、災害用トイレ「エペットさん」や道にアクセントをつける歩道用「プリントシールふた」、耐酸性中蓋の「蓋さびまげ(せん)」「雪どけまげ」などマンホール関連製品も出展していた。

一方、水と環境分野で事業展開している前澤工業は「下水道用ポンプ」に出展し、提案テーマ「都市、人、下水道の未来安全技術」に沿った製品を用意した。鑄物製品関連では、弁体が弁箱側面内に移動し、スムーズな流れ、偏心構造による優れた耐久性などを実現した「汚水弁」(マティハイバルブ)、「汚泥圧送管路」(庄方式)下水道に空気を流して流体を遮断する「汚泥用空気弁」(エアエース)などを出展した。

このほか、揚砂能力と省エネを高次元で両立した「省エネ型MJP配管移送システム」や、更新時に通水しながら施工可能な水処理反応槽用省エネ型の直結型攪拌機「Aqua DD M」、ろ面循環型微細目スクリーン「マルチメッシュスクリーン(MMS)」、新世代の溶解性有機物除去方法を実現した「MIXERX処理システム」などの機器・システムを展示していた。

東京管工機材商業協同組合(橋本政昭理事長)など5団体共催の「第45回管工機材・設備総合展」が7月31日～8月2日の3日間東京・有明の東京ビッグサイト東3ホールで盛大に開かれた。

今回のテーマは「未来に残そう 水と空気とエネルギー」。東日本大震災以降、環境をはじめ、省エネルギー、健康、快適、安心・安全などがメインテーマとなっており、時代の先端となっている最新の製品や技術が一堂に集めて紹介されている。同展にはテーマに沿って3005小間に161社・団体が出展した。

出展各社とも販路拡大に向け、汗かかっている。本組説明を展開していた。本組

高速グラインダー

自硬性中子砂 MIXER

〈特長〉  
 ●工数削減  
 ●取扱容易  
 ●堅牢

B型

12名の行政官、川口を視察

国際協力機構(JICA)と日本国際協力センター(JICE)は8月26日、ミャンマー国経済改革支援プログラム(貿易・投資・中小企業ワーキンググループ)アドバンスト・コースの一環として、川口鑄物など4社の工場視察、意見交換会を行った。

このプログラムは、期待される海外直接投資を機にミャンマー国内の産業発展につなげるため、どのような産業政策を実施していくべきかを検討する目的で開催された。

今回は8月24日～9月1日までの日程で日本政府がJICAを通じて、ミャンマー側から、第1、2東京ワークショップに参加したメンバーのうち、今後、政策立案の中核を担う行政官(国家計画・経済開発省、工業省、商業省、商工会議所連盟)などの副・課長クラス12名を招いた。

一行は、まずミャンマー国内(ネイトー、マンクレー、ヤンゴン)およびタイ・バンコクでの工場見学などを行い、25日に来日して、翌26日に素形材センターから紹介された川口鑄物の工場視察を実施した。

松島茂東理科大学大学院イノベーション研究科教授の案内により、(株)岩宗鑄造所(坂山孝夫社長、伊藤鉄工(伊藤光男社長)、不二工業(入野純一社長)など川口鑄物3社のほか、木型、金型の(株)遠山木型製作所(遠山春美社長)

など4社の工場を見学、各企業から概要説明を受け、意見交換などを行った。

4社見学後、川口鑄物工業協同組合に移動し、伊藤理事長らと交え、組合の概要説明後、意見交換を行った。ミャンマー側から、ミャンマーと日本の鑄造業比較による開発課題、中小企業

の海外進出展開、技術研修生、業界団体の役割、共同購入事業や材料試験・分析事業など様々な質疑応答が行われた。今回の視察を通じてミャンマー政府関係者は、日本の技術の強さと、自国の産業政策などへの貴重な示唆を得たよう

第45回 管工機材・設備総合展

伊藤鉄工が出展

川口鑄物工業企業研究会(通称・鑄研)は、9月27日19時からキョポ・ラ7階のメディアセブン・プレゼンテーションスタジアムで9月例会を開く。講師は(株)S P Rの中村友和氏で、製造業での生産性向上と効率化を図るために必要な「5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)について」解説する。

「スモールメイカーズ ショー in すみだ」

川口鑄物3社が売り込み

川口市など中小企業集積都市の首長、商工会議所会頭らによる「第9回中小企業都市サミット(墨田サミット)」が、8月8、9の両日東京墨田区で開かれた。今回初めて中小サミットに併催した「スモールメイカーズショー in すみだ」が両日両国技館で盛大に行われ、全国から製品自慢の元気な中小企業約160社が参加した。川口からは川口鑄物3社を加えた5社が出展して、売込みを図っていた。

組合理事長の伊藤鉄工(株)の子会社、(株)フレミカ(伊藤まゆみ社長)は、軽量化実現のダクスタイル鑄鉄製フライパン・鍋、水井機械鑄造(西澤祥社長)は、産官学の共同研究で開発された鑄物磨砂をリサイクルした人工セライトの

川口市など中小企業集積都市の首長、商工会議所会頭らによる「第9回中小企業都市サミット(墨田サミット)」が、8月8、9の両日東京墨田区で開かれた。今回初めて中小サミットに併催した「スモールメイカーズショー in すみだ」が両日両国技館で盛大に行われ、全国から製品自慢の元気な中小企業約160社が参加した。川口からは川口鑄物3社を加えた5社が出展して、売込みを図っていた。

組合理事長の伊藤鉄工(株)の子会社、(株)フレミカ(伊藤まゆみ社長)は、軽量化実現のダクスタイル鑄鉄製フライパン・鍋、水井機械鑄造(西澤祥社長)は、産官学の共同研究で開発された鑄物磨砂をリサイクルした人工セライトの

新設・メンテナンスのご用命は

鑄機、鑄材店へ

オガワのサンドミキサー製造元 高速グラインダー製造元

小川金属株式会社  
 本社/埼玉県川口市本町4-9-15  
 TEL 048-222-2903(代)  
 FAX 048-223-2117